

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		文化財保護事業		担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	6168	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市文化財保護条例				
	小項目	2	郷土の歴史・文化の継承と活用							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		文化財保護審議会の開催や文化財関係の会議、調整、文化財の指定や解除を行うものである。								
目的 ※何のために		文化財保護を目的とした審議会の開催や、文化財関係の会議、調整等を行う。また、文化財の指定や解除を行う。								
対象 ※誰・何を対象に		文化財全般の保護								
手段 ※どのように		文化財の保護と適正な管理をする。								
成果 ※何を求めるか		文化財の適切な保護を目指す。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(審議委員)								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	一般事務経費	128,180
本事業の 主な業務		・文化財保護審議会の開催							・	
		・文化財関係の会議、調整							・	
		・文化財の指定および解除							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催	文化財保護審議会の開催
事業費	予算(現額)	134,000	184,000	971,000	725,000	207,000	207,000
	決算額	113,203	98,380	720,450	257,889	128,180	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	1,980	43,834	4,030	3,400	5,000
		一般財源	111,223	54,546	716,420	255,639	202,000
人件費	従事職員数(人)	0.50	0.50	0.55	0.65	1.00	0.65
	人件費相当試算※	3,889,500	3,891,000	4,323,550	5,288,400	7,761,915	5,285,376
総事業費試算		4,002,703	3,989,380	5,044,000	5,546,289	7,890,095	5,492,376

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	文化財保護審議会開催回数	目標値	回							
		実績値		2	2	1	2	2	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定しない							
	実績値の算出式									
成果指標 1	市指定文化財数	目標値	件							
		実績値		247	247	248	248	248	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定しない							
	実績値の算出式									
成果指標 2	文化財の指定を行った数	目標値	件							
		実績値		0	0	1	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		文化財所有者の管理義務等から目標値は設定しない							
	実績値の算出式									
成果指標 3	文化財の解除を行った数	目標値	件							
		実績値		11	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		文化財所有者の管理義務等から目標値は設定しない							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

(1) 事業達成度評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	文化財保護審議会は、計画通り2回開催した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	市指定文化財数は、指定及び解除はなく248件であった。
			評価者 文化財保護係 田邊恵美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	埋蔵文化財事務の効率化を図るために、WebGISシステムに遺跡台帳を登録し、埋蔵文化財の管理を行っているが、紙台帳とwebGISシステムのデータに若干の誤差が生じている。 今後、webGISシステムデータの入力及び管理方法を協議し、整合性を図る。
			評価者 文化振興課 田邊恵美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	指定文化財の保護と適正管理を進める必要がある。
達成状況及び その効果	文化財保護審議会の開催や県や文化財団体の会議に出席し、定期的に指定文化財の見回り等を行う ことで文化財の保護や適正な管理に努めた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	文化財保護事業	担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	6168
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>市の歴史と文化を伝える遺産を継承し、文化財の保護・保全するために、文化財の指定や解除を行いつつ、国・県・関係団体と連携を取りつつ、今後も顕彰して文化財の適正な保護を図る。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> <div>文化振興課長 持田 淳</div>					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	文化財の保護・保全するために、文化財保護審議会の開催し、文化財の指定や解除を行いつつ、国・県・関係団体と連携を図り、今後も文化財の保護や適正な管理を行う。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

